

2024年3月21日

マルチエフェクト・プロセッサのフラッグシップモデル「Helix」シリーズ由来の
アンプ・モデルを追加搭載してパワーアップ。

独自技術を駆使した高品位なサウンドに、高い操作性を備えた新モデル
Line 6 ギターアンプ『Catalyst CXシリーズ』

株式会社ヤマハミュージックジャパンは、ヤマハ株式会社の100%子会社である Yamaha Guitar Group, Inc. が開発した Line 6 ブランドのギターアンプの新製品『Catalyst (カタリスト) CXシリーズ』を2024年5月に発売します。



Line 6『Catalyst CXシリーズ』。(左から)『Catalyst CX 200』『Catalyst CX 100』『Catalyst CX 60』

Line 6 ブランドのギターアンプは、その卓越したモデリング技術による高品位なギターアンプモデルとエフェクトから、世界中のギタリストに愛用されてきました。2022年3月には、同ブランドがこれまで培ってきた技術を駆使して生み出した高品質なオリジナル・アンプ・サウンドに、高い汎用性とシンプルな操作性を兼ね備えたギターアンプ「Catalystシリーズ」を発売いたしました。

このたび発売する『Catalyst CXシリーズ』は、従来の Catalyst シリーズのアンプ・サウンドに、市場でも高く評価されるプロセッサ「HX」ファミリーのフラッグシップモデル「Helix (ヒーリックス)」由来のオリジナルアンプを新たに6種類搭載しました。大規模なステージにも対応する200Wの『Catalyst CX 200』から、練習やレコーディング、小規模な会場でのパフォーマンスに最適な60Wの『Catalyst CX 60』まで、3つのモデルをラインアップにそろえました。また、よりディープな音作りを可能にする無償の専用アプリ「Catalyst Edit」(Windows/Mac OS/iOS/Android 対応)や、機能性を高めるフットスイッチ(別売)なども用意。ギタリストのあらゆるニーズに柔軟に応えます。

<概要>

1. Line 6 が培ってきた技術を駆使した高品位なオリジナル・アンプ・サウンドを倍増
2. あらゆる音楽シーンに対応する3モデル展開と高い実用性
3. 馴染みがあって使いやすいノブ型のユーザーインターフェース

| 品名 | 品番 | 希望小売価格 | 発売日 |
|------------------|-----------------|-------------------------|---------|
| Line 6 ギターアンプ | Catalyst CX 200 | 102,300 円 (税抜 93,000 円) | 2024年5月 |
| | Catalyst CX 100 | 83,600 円 (税抜 76,000 円) | |
| | Catalyst CX 60 | 59,400 円 (税抜 54,000 円) | |

※品番の数字は、出力ワット数を表しています。

<主な特長>

1. Line 6 が培ってきた技術を駆使した高品位なオリジナル・アンプ・サウンドを倍増

Line 6 ブランド独自のサウンド開発技術「HX サウンド・デザイン技術」を駆使して生み出されたフラッグシップのマルチエフェクト・プロセッサ「Helix」由来のアンプ・モデルを、『Catalyst CX シリーズ』には、旧モデルの2倍となる12種類搭載しました。ピュアなクリーンやモダンなハイゲインまでのオリジナル・アンプ・モデルを使用して、さまざまなアンプトーンで演奏をお楽しみいただけます。

さらに、人気の高いエフェクトであるディレイ/モジュレーション/ピッチ・エフェクトがそれぞれ6つのバリエーションによる計18種類、空間的な広がりや臨場感をコントロールできるリバーブを計6種類搭載しました。



2. あらゆる音楽シーンに対応する3モデル展開と高い実用性

大規模なステージにも対応する200Wの『Catalyst CX 200』から、練習、レコーディング、小規模な会場でのパフォーマンスに最適な60Wの『Catalyst CX 60』まで、3つのモデルをラインアップとして取りそろえました。それぞれPA機器や録音機器へダイレクトに接続できる「XLRダイレクト・アウト端子」に加え、USB端子を搭載しており、PA機器やレコーディング・システムに簡単に接続することができます。また無償のアプリケーション「Catalyst Edit」（Windows/Mac OS/iOS/Android対応）を使うことで、アンプのノブ設定、エフェクト編集などの細かい音作りをスマートフォンやタブレット、パソコンで簡単に行うことができます。



(左)3モデルのラインアップ (右)リアパネルと内蔵スピーカー(写真:『Catalyst CX 200』)

3. 馴染みがあって使いやすいノブ型のユーザーインターフェース

最新鋭の技術が搭載されたアンプでありながら、本体上部にはボリューム/ゲイン/トーン等、お馴染みのノブが並んでおり、これまで慣れ親しんだ方法でサウンドを変化させることができます。



<オプション品>



(左) 専用フットスイッチ「LFS2」 (右) 専用カバー(写真:「Catalyst 200 Cover」)

<製品仕様>

製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

<https://line6.jp/catalyst-guitar-amps/>

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：川本

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

Line 6 インフォメーションセンター

Tel. 0570-062-808 (ナビダイヤル、全国どこからでも市内通話料金)
